

1. 中京圏の現状

中京圏は名古屋駅を中心に半径40kmの範囲を云い、55年の圏域内人口は692万人、45年比で16%の増であるが、中核都市である名古屋市の人口は横ばいで、45年204万人、55年209万人で3%の増にすぎず、首都圏及び京阪神圏同様人口のドーナツ化が進んでいる。それに伴って、通勤、通学巨萬が長くなり、ラッシュ時の混雑の著しい線区もあり、鉄道網整備のおくれによる空白地帯が目立ってきている。中京圏は名古屋市を中心に戦災復興計画に当り、思いきつて広い道路を設けて整備してきた。それが鉄道整備とは逆にモーターリゼーションに拍車をかけ、かえって、公共交通機関の発達を阻んできたとも云える。中京圏の輸送機関別シエヤーは図-1の通りで、鉄道のシエヤーは41年に45%あつたものが年々減少して、55年には27%となり、首都圏の59%、京阪神圏の53%に比し半分以下である。これは40年以降伸びてきた輸送量を、自家用車がカバーするべく大形で推移しているのが特徴で、自動車の保有率も高く、愛知県の調査によると、表-1の通り保有台数が一世帯一台以上になったのは47年のことで全国平均が53年であるから、かなり早いわけである。

図-1 三大都市圏における交通機関別輸送人員(昭和55年度) 交通機関別担率

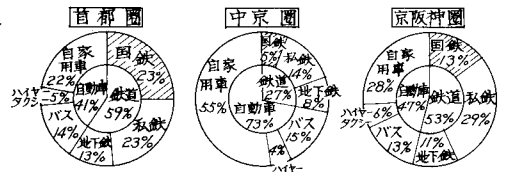


表-1 自動車保有台数の推移

区分	45年	46	47	48	49	50	51	52	53
愛知(保有台数(千台))	1,298	1,446	1,611	1,756	1,844	1,918	2,015	2,118	2,223
愛知(世帯あたりの台数(台))	0.89	0.95	1.01	1.06	1.08	1.11	1.15	1.19	1.23
全国(保有台数(千台))	18,701	20,978	23,555	26,182	27,711	28,934	30,703	32,853	35,000
全国(世帯あたりの台数(台))	0.64	0.70	0.76	0.82	0.85	0.87	0.91	0.96	1.00

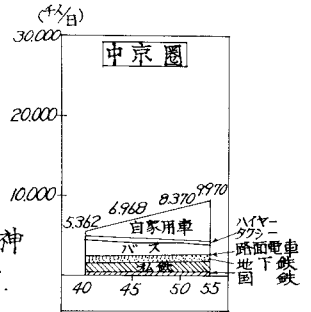
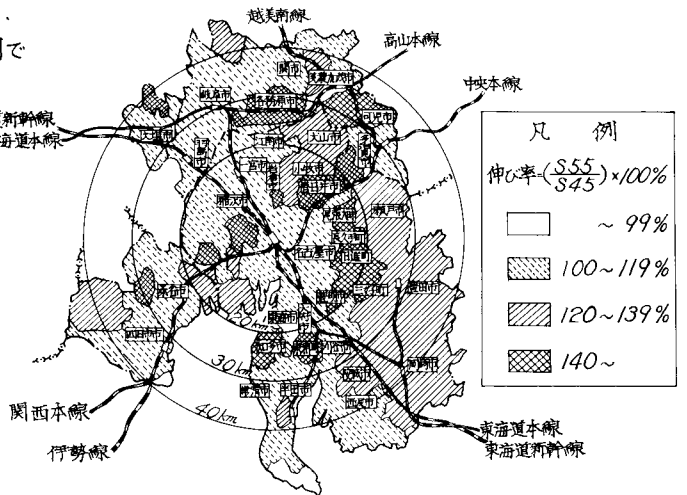
資料：陸運要覧

2. 中京圏の輸送事情

中京圏の線路密度は、 $218m/Km^2$ で、首都圏の $298m/Km^2$ 、京阪神圏の $257m/Km^2$ に比しやや劣るけれども逐次輸送力改善を実施してきたが、都市交通年報によれば、56年名古屋に入る路線で、混雑を調べると、通勤時に200%を超える所は中央線、250%、

名鉄犬山線221%、名鉄瀬戸線200%、名鉄常滑線207%となっており、方向別では、北及び北東方面と南方面で、図-2の通り名古屋付近の人口の伸びの著しい方面とも一致する。これらの方面の56年度の輸送密度は大きく中央線85,600人/キロ日、名鉄犬山線82,000人/キロ日、名鉄瀬戸線40,000人/キロ日で輸送量の大きい線区である。又市周辺部から名古屋市に流入する通勤、通学人口を見ても図-3の通り北及び北東方面が、伸び率、流入人口においても大きな値を示している。

図2 名古屋都市圏人口の伸び率の分布



これは従来から輸送力増強がすすめられてきた東海道線、近鉄線、名鉄本線方面に比較して立遅れていて、30年7月東海道線の電化が完成してから、10年たった41年7月に中央線名古屋瑞浪間の複線電化が完成、沿線開発が始まり、53年8月名鉄瀬戸線の栄、乗入れが完成し、この方面の輸送力増強が行われ、住宅地帯の開発、人口の伸びが目立ってきた。又地価も名古屋西部について安いのが特徴である。

### 3. 交通網整備計画の展望

中京圏の今後の交通網の整備計画は地下鉄を中心に図-4の通り整備されてゆくものと思われるが、それでも、将来名古屋市の東南部から北部にかけて、交通空白地帯が目立つ。名古屋駅を中心に半径15kmから20kmにかけて、隣接線までの巨離は、名鉄本線、豊田新線間は約11km、豊田新線、名鉄瀬戸線間は約12km、中央線、名鉄小牧線は約11kmでその空白が著しい。従って、これらの地区の交通網を整備する意味で、都心から放射状に、地下鉄6号線及び1号線をそれぞれ豊明、長久手方面に延伸するとともに、名鉄小牧線を改良して、地下鉄7号線と接続し、都心に乗入れる案が考えられる。なかでも長久手方面及び名鉄小牧線方面の整備が優先されることになる。

### 4. 輸送需要の調査

筆者らは前記8方面について、輸送需要を調査してみたが、東及び北東方面の需要の伸びが大きく、55年を100とした場合、65年の伸び率は、東方面は270%、北東方面では180%ぐらいと予想している。従って、今後の中京圏の交通網整備対象地区は、東部方面から北東部方面の丘陵地と考えられるので、引き続き調査してゆきたい。

(図表は愛知県交通対策室資料による)

図-3 名古屋市のゾーン別流入人口の推移 (通勤・通学者)

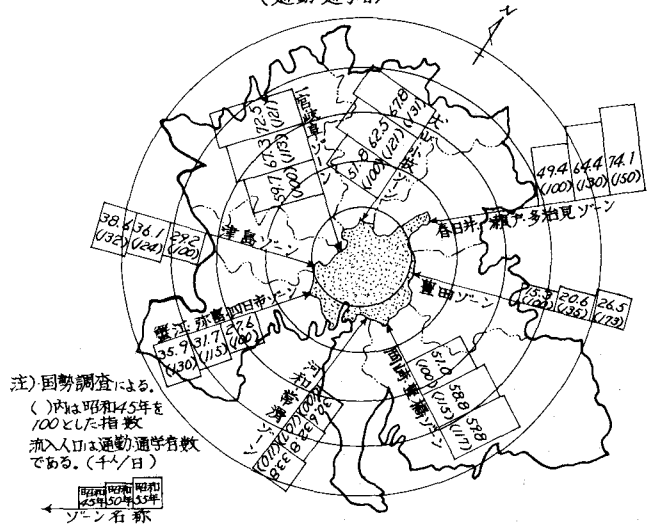


図4 中京圏鉄道網計画図

